

町有施設における PCB 処理（電気設備改修）について

1 背景

本町施設の高濃度 PCB を使用する機器については、令和 3 年度の旧役場庁舎の解体時の処分をもって完了している。

令和 8 年 3 月に北海道から、十勝管内の自治体において、これまで想定されていなかった小中規模施設の低圧コンデンサから低濃度 PCB が検出されており、各自治体においても令和 9 年 3 月の処分期限に留意するよう情報提供があった。

2 対応

新嵐山スカイパーク内の電気設備から PCB が検出された状況もあり、本町の各施設においても対象となるコンデンサやトランスが存在する懸念があるため、対象となる平成 16 年（2004 年）以前に建設された 107 施設（上下水道 21 施設については水道課が別途実施）の調査委託を実施した。

3 低濃度 PCB 含有機器を使用等している可能性がある施設

No.	施設名称	建設年度	トランス	高圧コンデンサ	低圧コンデンサ
1	堆肥センター	H16			3 台
2	めむろ駅前プラザ	H10			5 台
3	斎場	S51			19 台
4	車両センター	S60	4 台		1 台
5	芽室消防署	S56	1 台		
6	図書館	S63		1 台	
7	公立芽室病院	H3			17 台
8	水道施設(上水・簡水)	—			21 台
			5 台	1 台	66 台

4 今後の予定

- (1) 対象施設所管課において補正予算計上（6 月最終日）
- (2) 電気設備改修工事として都市経営係一括発注（PCB 含有の可能性のある段階）
⇒ コンデンサは破壊検査が必要であり、含有を調査する時点で機器交換となる。
※水道施設については、上水道事業会計予算内で実施（8 月末完了予定）
- (3) PCB 含有機器の運搬・処分費用を別途補正予算計上

●PCB（ポリ塩化ビフェニル）☞絶縁性等の性質により、トランス用絶縁油などに利用されてきたが、有害性が確認され、分解されにくく広範に環境中に残留している。

高濃度 PCB の処分期限は既に終了し、低濃度 PCB は今年度末で処分期限が終了する。

●トランス（変圧器）☞送電線で送られる電気の電圧を施設で使用可能な電圧に変える機械。

●コンデンサ（蓄電器）☞電気エネルギーを蓄えたり放電したりすることで、電圧を一定に保つ機械（高圧：600V より大きく 7kV 以下までで使用、低圧：200V～600V で使用）。